俳諧千題集

上

へ 5
4665
1

門 へ5
號 4665
巻 1

昭和十六年一月十一日
尼野貴英氏
寄贈

凡例

出てハ山海の風色を箸笠を破り座しそれ
山川萬里の書紀に景趣をうつし此松先生の
美景に心をゆきまらはしを見るに記し　安年
錄してそ名所の部類稿朱そやかて萬葉書屋
に投さんとすいてや名所の発句撰集をもて古く
五升庵の名所小鏡素外の方角集かと多く
元祿の优哲をのきて善美令しはしとおもて
かちまきて山に川に一筋に見る事かたし所名
集にあつて地名名物郡邑ホくハしうすきと目錄

のこ多くて吾合せられ句ばかりなるにをも題
叢の名所を四季の題を部類したるを書をもつと
考へ出て詞書のこゝおほくてこゝるに煩しく採るに
時をうつすさしかれてしかれをもこまをも考へ合せて
太祇柳居の時より土朗こち竟と移りて人の
名家たとしくきしさ次山川村里の部類をかち
題数凡千百余にこそよて題しく名所千題集
とは冊子のふまハ家家蔵をもとゝ出て寸画て
先に出せし新五百題の趣をもつきす粗要しくハ
次第の凡例をしるしまへのし

一名所題目録に西をもてかちたれハ其家しをと
もゆくかんか嵩まれ求文いろはかに順にてたるハ
秋の二様光の例に倣比て採る安かに志めんか為も
一名雲地名とかきたるハ杜の二様光 袖頭 哥枕
宗祇西西記ホそこそく考へ合して名所なる勢
地名にハ圏点をかふ
一本文の宗初に何山山何 何川何田なと名所
かの熟字をも部類のもしめへ出せるハ云そうふ
この時二様光のふりをれこるし云ろく句作の用意
に使へんとの心なり

一ほし名の分まてるハ其頭數くへ分ちて出す
句葉の無理廣かるんハ指にあるハ諸君子の句を
多く拾はんとて地まとゝて嗟嚢と云頭に嗟嗟
山を山の頭嗟嚢ハ野の頭に有と知る事し
余をこれにあらふ
一ほ名の名所地名ハ其句の出處を考へ其吟を
會得しまて出まりまとゝ玉川に三四ケ處有室
町に京師江戸宵余ハ推て知るべし
一神釈によりてたる地名名所ハすなはち神釈の
頭へのまぬ其一ツをいたし山の頭なまと象頭山

神路山を神祇へ出し身延山ハ釈にのき良山の頭
なまと巖崎ハほしく神社の頭へ出すと知る事
一諸君子の所名を巻中に記まく處しまなまを
よくしたしけれ初に名縁をかけて其をかつ也
又ほ名の人ハ新古に分ち巻中に所名をのまとる
説をし又古人の名のしへに名縁のまへ圏点を
志るし まるなとこれ新五百頭の例にほし

文政十一年戊子春　田喜葬主人誌

名錄 仕題次不論前後

山城

○巴人○蕪村○召波○太祇○方廣
○蝶夢○維駒○馬印○几董○子東○可董
○都雀○蘭更○甫尺○百池○木海○五芳
○鳥頂○月居蒼虬其成布雪貨僕
空阿素芯十丈岱李其雀梅價
壺中白絲女俤美花紅白堂千崖
守三一路乙彥菊後くゝ女茂推
素童明良霞岫世南杜蓼五陰

大和

青々徐覚長水春草左一
素人一耕圭々

摂津

○二柳○木僊○遲竹○升六○大江丸
○尺艾○友國○一草○三津人○星譜○芳中
○長齋○米彥○卧鴨○菴十屋烏魯隱
吾長魚眼寄渕百堂岱年冬色女
福朱蟻兄曾洲舒風一肖月江
竹児草齋兎六杜蘭摸立杉窓
搥三古樂君繻孤龍周馬美松
正人 ゑるこ女 呉老桐栖鯉渕西月

丹波

○青阿武陵野揚守豊俵瓜

和泉

○喜齋清風

梅亭 蕗村 猿 年光浪 丹後 柳圃
巍道 沼人 但馬 吹角 因幡 寸風
出雲 玉水 播ナ ○青蘿 ○玉屑泥中
五芳 南窓 美作 如斯可也 松雄
玉川 備前 貯江 椿市嵐香 北菀
騎竜 柳丁 備中 捍歌月窓 備后
藏六 安藝 ○篤老 ○梅佛凡十 春魚
得一 其一 舜路 豊前 昌人 豊後
○葵亭 筑前 ○雪甫 肥後 仙斧 肥前
○祥禾 ○天外 菊也 東齋 [illegible] 壹岐

三千雄 伊豫 ○樗堂 亀牙 懷橋 柳塘
鯉登 麥村 凡六 竹馬 熒三 亀月
市仙 讃岐 朴端 一統 蘭舟 枝厚
佛朔 一樂 花友 蔦巴 五橋 淡路
青岐 紀伊 北夢 近江 ○童厚 ○祐昌
○聯道 ○芳之 ○千影 ○斗月 申齋 [illegible] 女
宇洋 可盈 千當 虚白 閑齋 蕙市
一 嘯 雨渕 米佛 鷺秋 一水 竹窓
泰里 奚疑 采友 古推 方角 孤山
斗南 和月 士明 キ堂 和水 好々

正六竹世草也斗行 伊賀 ○一音
○一醉梅歌 伊勢 ○樗良 ○二日坊 ○来汐
○丘高 ○青川 ○他力 ○椿堂 ○鳥翠 雁路
杉長 宗古 省吾 湛石 團釈 知牛
畚民 菊處 昌作 斧秋 曉浦 湖友
龙来 涼濤 李東 無牛 思父 井里
清波 桃彦 尾張 ○曉臺 ○士朗 ○白圖
○羅城 ○桂五 ○松兄 ○岳輅 ○方明 ○少汝
○麥阿 ○圃曉 ○木人 ○青霞 李臺 ○塊翁
東水 不轉 呉山 咲菓 沙鷗 [illegible]

月底 盧汀 野雀 宜彦 美濃 河雄
如雪 三河 ○秋拳 卓池 赤守 塞馬
遠江 熒山 駿河 ○石蘭 甲斐 ○可都里
○敲氷 ○百二 ○草鳥 漫〻 嵐外 蟹守
真恒 百慈 松保 岐久守 伊豆 一瓢
相摸 ○丈水 ○春鴻 ○玉珂 ○葛三 ○澧水
○豊女 ○梅夫 ○暮玖 濵藻女 雉扇 菱垣
潮水 慶秋 雉啄 一慥 梅星 可都良
雀角 英之 柳囲 安成 露竺 永枝
梅年 松蘿 如意 信濃 ○援左 ○柳莊

○伯先 ○素檗 ○雲帶 ○虛白 ○可瑞 ○微席
○五什 ○麥二 ○一茶 龜蓬 菓成 叢
周行 葛古 月臺 洌香 玉蓬 可厚
五帆 壺伯 若人 敬齋 如水 龜夫
苣丸 千尋女 芳汀 如陵 一化 石羊
春明 柯雪 霞邦 挹芝 梅年 米丸
雅堂 龜白 夕亭 以吉 加賀 ○佛仙
○栗三 ○眉山 ○鹿古 ○時喜雨 ○斗入 ○麻直
年風 年緒 草均 其翠 夜鹿 風芝
木雄 呼亭 久美 雪人 丹嶺 逸水

蜂舍 知白 春暉 箕青 能登 晚籟
越中 ○嵐丈 布施丸 耳行 斗山 北冥
五湖 雲布 禹立 眉州 可九 似曉
越後 ○龙琴 ○路丈 ○青甫 石海 迦孫
季珉 東峩 了々 蝸堂 呉洋 靜觀
二川 紗雲 芝蘭 蓬扯 竹人 蛙堂
涼居 田都喜 五岷 霞江 陽奠 包抒
雪堂 奈岐沙 石年 卓二 美都喜 徐耒
笑壺 兔川 弄山 龜徑 月敏 益賀
尓弓 巴東 宇弘 市鳳 石柴 環山

雅屑 岩羽 ○五明 ○長翠野松御風
琳山佐平北明古翠陵山左母里
吾長民児太擣亀年 陸奥 ○巣居
○笘庵 ○素郷 ○秋夫 ○萬象 ○冥々 ○朶年
○文郷 ○布席 ○尾花 ○東芽 ○乙二 ○雨考
多代女 黙巣一具馬令麥園喜代女
幼亭雄渕且々曰人馬年素龍
の却美 繁里柴明葛父南兮斗山
禅阿弥 文骨与人方耕柳圃梅子
谷雄 草琚阜堂蘭溪子龍甫山

且翠湖月湖光雨抹芝郷一藤
文繡希石和友碧水英抹観瀾
可夫草雨家抑鮭文揉溪 常陸
○松江万磨元あ皮甘流兎柳化竜
語明皎月三有泉里昭眉義香
聽雨涼谷春雨知壱乙人拂磨
化迪 安房 ○宗拱 ○其文 ○素共 ○郁賀
平雄越児舞鳳吾朴春志斗白
雪観琴松楽水拵技雨鴻 上総
○三化輪之音人都三其芳野鴿

寛里言々蓼齋毎因一壺車来
弄化秋守竹逕竹和政二對慈
竹童如英玄阿木葉里丸 下総
○恒磨 ○素迪 ○素月尼 葆光蒼峩桐雨
江月雨塘普記挂山利雪宗菟
青岐廣陵柳塘呉雪閑古汶水
林風静齋駭鳥南涯至幸里長
斗圃文児雅篁李峰ちさ雄梅宇
田美八木林松千年午乳一星
秋舟名澄清客月露竹加瓜涼

闌兆一知秋朝 下野 ○北岱祇山
奥文星谷湖外隆道其翼琴夕
可都美苞竹晩葭松知莪香巴蛍
月丘莞尓 上野 壺羊鶏周鹿太
阿兮茅磨旬光乙人茂巨泉
王芙由之真貫嘉女奥連路久
両賀 武蔵 ○柳儿 ○星布尼 ○巣兆 ○樂山
國村五縄楽水アヽ汾女太良彦洗志
双烏湖山羅含巣谷憲甫中露
角浪柳寄専丸可布有臺不玉

摴梁五十二一稚巢二衣月筍亭
少々之女史撻双湖杜英 江戸 ○吏登
○涼俤○存義○鳥酔○柳居○門毘○古湖十
○吐月○以足○蓼太○白雄○百明○保吉
○政二○宗讃○春鴻○兌堂○成美○午心
○完来○花縣○美知彦○壽翁○胡準○屢中
○鳥習○ノ旦○草夫○逸山○心匪○季道
○直也○ちけ女宜麥五陵鶯笠應々尼
寥松元風碓嶺蕉雨萬里對山
玉光啓山宇橋双揚久瓢車両

茶静黙齋訓山乎焉詠帰碩齋
袁丁大梅一蕙雨籟梅壽杉露
一兆荷乙梅塢川峩素撲○吐山
草雅調意棧車春路麥洌竹坡
爐扇一摟菊角箕山沙明守光
公諸美石苻松杜素鶴柳尾素融
与洌蟠斗莚雪人杉枝其峰
魯仙子伯支秋兔菓塢双史一司
大鏡士升仙兆曽人元曉元醒
樂只三巴禾葉鷺雪桃林三我

亀貞　雀觜　巣鵞　如水　可景　喜掟
和水　さち线　亦丟　泝流　春盞　翁蓁
連志　山幸　葉舟　榮李　其碇　政道
小圃　雀子　石湖　雪翠　捻市　[illegible]
奎議　舟静　如松　撻菴　阿古丸　兔石
柳川　元雄　馬梁　従之　雪嚕　巴水
[illegible]記　来鷹　亀央　真侶　珠弓　粗文
竹馬　其柳　摴山　白挂　清風　阜郎
圭洲　文口　茄了　阿恵　林曹　入舩
一啄　白賀　万芝　里　砂粒　風二　白鷗

雪且　寄舩　飄賀　梅夫　和來　露禽
駿吉　清人　楚龍　悠川　[illegible]女　[illegible]女
[illegible]女　[illegible]女　[illegible]女　美佐女　[illegible]女　[illegible]女
[illegible]女　千賀女　美代女　其翠　松語　夏挂
恵兮　露谷　且臺　希拙　三生　淡水
禾木　護物

惣目錄

○上之卷

一 山之部 并嶺峠
二 谷之部 并坂岡 關之部
路之部 森林之部 并林
野之部 并原牧

○中之卷

三 橋之部 并渡
瀧之部 并瀬岸 川之部
江之部 并沿沢渕
池田

井之部 并水温泉
四 海之部 并濱浦 湖之部
島之部 并潟磯崎 漢迫門 津之部 并泊淀 堤畷
○下之卷
五 國郡之部 并都古屋鋪 臺 里之部 并村挺里
驛之部 并町市 辻
六 寺之部 并塚 神社之部
雜之部

名所千題集上之目錄

一之卷

○山之部 并嶺峠
礒 山ヲ行 端 山ヲ行 ○元 山ウ行 春 山ウ行 畑 山ヲ行
離 山ヲ行 濱 山ヲ行 西 山ヲ行 遠 山ウ行 外 山ウ行
○門 山ヲ行 ○豫 山ヲ行 ○萱 山ヲ行 ○夜 山ヲ行 ○田中 山ウ行
○猶 山ウ行 夏 山ウ行 ○向 山ヲ門 浦 山ヲ門 ○裏 山ヲ門
奥 山ウ門 ○草 山ウ門 ○藪 山ウ門 松 山ウ門 槙立 山ヲ門
冬ヽ 山ヲ門 小 山ヲ門 秋 山ヲ門 ○笹 山ウ門 北 山ウ門
深 山ヲ六 嶋 山ヲ六 ○檜 山ヲ六 ○脊戸 山ウ六 ○[illegible] 山ウ六

○扨山六丁ウ○山畑六丁ウ山端七丁ヲ○山鼻十丁ヲ山隂七丁ヲ
山風七丁ウ山家七丁ウ山中七丁ウ○山表八丁ヲ山奥八丁ヲ
尾上八丁ヲ山口八丁ウ山邊八丁ウ○山手九丁ヲ山間九丁ヲ
山際九丁ヲ山本九丁ウ山住九丁ウ

山城

○如意嶽十二ウ鳥邊山十三ヲ小倉山十四ヲ音羽山十四ヲ
小野山十四ヲ小塩山十四ウ鹿脊山十五ヲ笠置山十五ウ笠取山十五ウ
高雄山十八ヲ○大文字山十八ウ宇治山廿ヲ男山廿一ウ大原山廿一ウ
鞍馬山廿二ヲ伏見山廿三ウ深草山廿三ウ舟岡山廿三ウ嵐山廿五ヲ
粟田山廿五ヲ嵯峩山廿八ウ○京ノ山廿九ウ衣笠山三十ヲ○東山三十三ウ
○桃山三十四ウ

大和

初瀬山十一ウ葛城山十五ウ春日山十六ヲ

片岡山十六ヲ香久山十六ヲ吉野山十七ウ龍田山十八ウ高間山十九ヲ
高圓山十九ヲ畝火山廿ウ○掠岸廿二ウ佐保山廿九ヲ三笠山三十ウ
三室山三十一ヲ耳梨山卅一ヲ三輪山卅一ヲ

河内

生駒山十丁ヲ

摂津

○茶臼山十三ウ○摩耶山廿三ヲ○須磨山廿四ウ

伊賀

○伊賀山十丁ヲ

伊勢

○伊勢山十丁ヲ音無山十四ウ○相ノ山廿五ヲ
阿保山廿五ウ鈴鹿山卅四ウ

志摩

○日和山卅三ウ

三河

二村山廿三ウ

遠江

宇都ノ山廿ウ小夜中山廿九ヲ

駿河

冨士山廿四ヲ足鷹山廿五ウ○薩埵岸廿九ヲ

甲斐

○犬目山十丁ウ
甲斐根十六ウ○裏不二廿一ヲ○小佛岸廿四ヲ○天目山廿四ウ夢ノ山三十ヲ
白根廿二ヲ塩ノ山廿二ヲ

相模

筥根山廿二ヲ鎌倉山十六ウ

双子山ヲ廿四 足栖山ウ廿五 両降山ヲ廿六 間中山ヲ廿六 [廿藏]
○秩父山ウ十三 待乳山ヲ廿三 ○御殿山ウ廿四 ○飛鳥山ヲ廿六 狭 山ウ廿九
[常陸] 鹿嶌山ヲ十七 筑波山ウ十九 芦穂山ウ廿六 ○両曳山ウ廿六
[近江] ○石部山ウ十 伊吹山ウ十 石 山ヲ十一 鳥篭山ヲ十三
鏡 山ヲ十七 田上山ヲ十九 長等山ヲ廿 三上山ウ廿一 志賀山ウ廿二
比良嵩ウ廿三 ○摺針峠ヲ廿五 [美濃] 稲葉山ヲ十一 ○赤坂山ウ廿六
美濃山ウ廿一 [飛弾] ○飛弾山ヲ廿四 [信濃] ○床ノ山ヲ十三
姥棄山ウ十四 風越嶺ヲ十七 ○横吹峠ヲ十八 ○蓼ノ科山ヲ十九 束稲山ウ十九
碓氷嶺ヲ廿一 ○駒ヶ嶽ウ廿四 浅間山ウ廿六 有明山ヲ廿七 木曾山ヲ三十
御射山ウ廿一 ○塩尻峠ウ廿二 一重山ヲ廿四 [上野] ○攀名山ヲ十二

仁井田山ウ十二 ○久呂保山ウ廿二 赤城山ヲ廿七 [下野] ○高原山ウ十九
黒髪山ウ廿二 [陸奥] 岩手山ウ十一 岩城山ウ十一 不忘山ヲ十五
安積山ウ廿七 ○畠多良根ウ廿七 ○會津根ヲ廿八 ○金花山ヲ三十 信夫山ウ廿二
末松山ヲ廿五 [出羽] ○温海山ヲ廿八 [若狭] 後瀬山ウ廿一
[越前] 丹生山ウ十二 帰 山ウ十七 越ノ中山ウ廿四 有乳山ヲ廿八
[加賀] 白 山ヲ廿三 ○雛ヶ嶽ウ廿四 [越中] 砥波山ウ十三
卯花山ヲ廿一 [越後] ○杤窪峠ウ十三 ○黒姫山ウ廿二 [佐渡]
○佐渡山ウ十九 [丹波] ○丹波山ウ十九 大江山ヲ廿二 [但馬]
入佐山ウ十一 [紀伊] 七越嶺ヲ廿 [筑前] 朝倉山ウ廿八
挿頭山ウ十七 ○窪手山ヲ廿三 [豊後] 木綿山ヲ三十 [illegible]津山ヲ廿三

肥後　安蘇嵩 ウ廿八

二之巻

○谷之部　并坂岡

谷挾間 ヲ廿六　谷ノ戸 ヲ廿六　岡　邊 ウ廿六　小　坂 ヲ廿六　谷　隂 ウ廿六

○坂口 ウ廿六

山城　神樂岡 ウ廿七　○僧正谷 ヲ廿八　双ヶ岡 ウ廿八　○八　坂 ヲ廿九

○抓坂 ウ四十　○日ノ岡 ヲ四十一　大和　奈良坂 ウ廿八　摂津

○一之谷 ヲ廿七　伊勢　○扶突坂 ウ廿八　遠江　○汐見坂 ヲ四十一

甲斐　○鷲谷 ヲ廿九　相模　○亀ヶ谷 ウ廿七　○井戸ヶ谷 ヲ廿九

○化粧坂 ウ廿九　扇ヶ谷 ヲ四十　武藏　○神樂坂 ウ廿七　○四ツ谷 ヲ廿八

○谷中 ウ廿九　○袋谷 ウ廿九　○阿弥陀坂 ヲ四十　○雜司ヶ谷 ウ四十　近江

○蟹ヶ坂 ウ廿七　逢坂 ヲ四十　信濃　○寐覺床 ウ廿八　木曽御坂 ウ四十

丹波　光ノ坂 ウ廿七　紀伊　○杲毎坂 ヲ廿七　藤代御坂 ウ三十九

○関之部

関ノ戸 ウ四十一　関　路 ウ四十一　○裏関 ウ四十一　関　家 ウ四十一　関　守 ヲ四十二

河内　鷲ノ関 ヲ四十三　摂津　須磨関 ウ四十四　伊豆

○摂府川関 ヲ四十三　武藏　霞ヶ関 ウ四十二　○栗橋関 ウ四十三　近江

○小関越 ウ四十三　逢坂関 ヲ四十四　美濃　不破関 ヲ四十三　信濃

會地ノ関 四十四 上野 ○横川関 四十二 陸奥 ○伊達木戸 四十二
名古曽関 四十三 白川関 四十四 越前 ○細呂木関 四十二 加賀
○安宅関 四十四 紀伊 紀ノ関 四十四 出雲 手間関 四十四

○路之部

家路 四十五 濱路 四十五 ○逕 四十五 田道 四十五 夜道 四十六
山路 四十六
大和 大和路 四十七 河内 河内路 ○東海道 四十六
伊勢 伊勢路 四十六 ○鈴鹿路 四十八 駿河 葛細道 四十六
○駿河路 四十 下総 ○成田道 四十 常陸 ○水戸街道 四十八

近江 ○車道 四十七 近江路 四十七 美濃 ○美濃路 四十八
信濃 木曽路 四十七 ○信濃路 四十八 越前 ○越路 四十七
播磨 ○播磨路 四十六 紀伊 紀ノ路 四十六

○森之部 并林

山城 柞ノ森 四十九 糺ノ杜 四十九 浮田森 四十九 藤ノ杜 五十
○祇園林 五十 和泉 信太森 五十 摂津 生田杜 四十九
尾張 阿波手杜 五十 駿河 木枯森 五十 武蔵
○嬉ノ森 四十九 ○吾妻杜 五十 上総 ○笠森 下総
○八幡不知 四十九 近江 老曽森 四十九

○野之部　并原牧

石原 ヲ十一 春ノ野 ヲ十一 ○原屋鋪 ヲ十一 拈野 ウ十一 ○竹原 ウ十一
夏野 ウ十一 野邊 ヲ十二 野路 ヲ十二 野渡 ヲ十二 野風 ウ十二
野中 ウ十二 ○野口 ウ十二 松原 ウ十二 冬野 ヲ十三 仇野 ヲ十三
○廣野 ヲ十三 檜原 ヲ十三

山城

○鳥羽野 ヲ十四 鳥辺野 ウ十四 小原 ヲ十五 小野 ヲ十五
○小栗栖野 ウ十五 淀野 ヲ十六 ○蓮臺野 ヲ十六 紫野 ヲ十七 大原 ウ十七
真葛原 ヲ十八 嵯峩野 ウ十九 北野 ウ十九 美豆野 ウ十九 ○朱雀野 ウ六十
摽野 ウ六十

大和

飛火野 ウ十四

河内

交野 ウ十五

摂津

伊那野 ウ十三 遠里小野 ウ十四 昆陽野 ウ十八

伊勢

○豊久野 ウ十四 嬉野 ウ十七 ○曙野 ウ十八

遠江

○味方原 ヲ六十
不二裾野 ヲ十八 三保松原 ヲ六十

相模

諸越原 ウ六十

駿河

○入間野 ウ十三 武藏野 ヲ十七 野火留 ウ十七 ○柳原 ヲ十八

武藏

浅茅原 ウ十八

下総

千葉野 ヲ十五

近江

筑摩野 ウ十六
○近江野 ヲ十九 粟津原 ヲ十九

信濃

穂家野 ヲ十四 薗原 ウ十六
浅葉野 ヲ十九 ○桔梗原 ウ十九 桐原牧 ウ十九 菅荒野 ヲ十一

上野

○伊香保野 ウ十三 ○笠掛野 ウ十五

下野

那須野 ウ十六

陸奥

玉田横野 ヲ十六 ○葛松原 ヲ十八 安達原 ヲ十九 宮城野 ヲ六十

丹波

生野 ヲ十四

播磨

印南野 ヲ十四

以波

名所千題発句集巻之一

田喜庵護物輯

○山之部 并嶺峠

磯山 いそ山や葉萸折ふ子の袖袂 白雄
磯山やいなし曇に雉子の鳴 長翠
夕かもやいそ山樫木芽吹 保吉
磯山や務蔵こすらむの中 樗堂
いそ山の砂にころかる初時雨 玉光

端山 さゝら蛍に咲や端山の宮清し 蘭更
嘗の桜に行重ふ端山夜 召波

うしめ夜の満月うる嫦山を　乙二
鳴て居殺るに日のさす嫦山を　亀蓬
○兀山　春の雨赤兀山に降ゝまぬ　青蘿
兀山や大山桜のむらま芽　季珉
兀山や淡芽にうゝる夜の雲　菊成
たけ山の星ゆゝぼく生海鼠芽　栄静
兀山の家ゝ屋を春ゝ寒ゝ雨　可景
春山　霞くの扇の先や春の山　古翠
雲く里そこゝえてたる秋山　百慈
明教戸にうけの時ゆゝ春の山　莞尓

雨乾く芝の春こゝや春の山　梅塢
猶ゝてにむかひ合ひ春の山　栄静
畑山　畑山の夏も過ひ辛夷咲　其峰
畑山を越るゝて夢　嫌ゝ有　禾木
離山　家ゝ屋の繞月夜や鶯遠山　幸雄
下ゝもゝ元ゝ夜ゆゝ春遠山　護物
濵山　濵山に水のゝらゝや不古多　包抒
涼しさや下ゝ陰多きを波の山　桟車
西山　西山の嵐きゝゆる蒲雲ゝ有　黙巣
西山の松の木ゝゆる芽輪ゝ　一具

遠山

西山や雪雲みしまた日曇る　護物
青山のことゝ重る　柳　升六
遠山や孫の阿ゝも　杜の雪　漫々
咲かして遠山曇るさくらぶ　一具
遠山の雪よるふし　枯屋　叢
雪なから青山霞まで菜麦　湖山

外山

庭鐵に透す外山や庵の蝸　草夫
夏山の外山にちるや東の雲　草鳥
大年や雪の外山の雑木かち　木雄
夜のうちに焼て雪おく外山ぶ　石符

○門山

変の積に引始さまし外山麦　宇橋
門山を除山見かすや東の旬　黙巣
門山を尾にして雨の火串麦　越児

○稼山

金霧や稼もなかぬかせき山　美知彦
霜ふりや多を儲のうきの山　玉光
よひのうや楷阿ゝさに稼山　岐久守

○萱山

宣るけに萱山ゆらや夜の雲　茶静
短き時や日ハ萱山に沈引る流　吐山

○夜山

六月や旅人に乗ふ東の山　樗堂
初午秋行ゝもなし東の山　其成

引板体まで水きるし夜の山　荷乙

○田中山　あり人石取車や清しを田中山　蓬杣

屋も多摩や苗代時の田中山　和水

○猶山　あら山や日ハ梨の　くハ青と　星谷

猶山や清さをきける風の音　宇橋

あら山や鹿の息こる　春南　春路

夏山　湖のむかふ所るや　あつの山　雀子

月も家も濡て越ゆり　夜の山　梅塢

下るてくる人もそえ見えて夜の山　宇橋

夏山や清晴をかくす　筆記とも　茶静

○向山　何に行人を本枯のむかふ山　玉蓬

當余は春の日かけやむかふ山　亀径

浦山　三月の雲と来ゆり　浦の山　升六

明日の春や蜂の行　浦の山　士朗

鶯なるかやうかけて春き浦の山　月臺

○裏山　ゆく春や水のきるかうらの山　福米

種すらきのうへ行人や裏の山　谷雄

ころもかえ引提てもるうらの山　雅屑

鶯の夜鉄なるや　裏の山　湖山

うら山をそいさよふの笠のる　茶静

奥山　奥山や人住行ゆゑ菫くさ　曉臺
松く山や月ゑ風ゆゑ風係し　樗良
奥山ハ沈ゆゑもてやきゐ葉ゑ　谷雄

草山　采古多料山ゑき豆の月　蒼虬
吹上る風の草山のまゝにも　馬令
草山の嵐にゆゑ鳴ゑ雀　鮭堂

藪山　鳩なくや藪山口のつゝ家　曉臺
藪山も花の一宮もつ日来　護物

松山　松山のうゑ緑ゑ味ほとゝきゐ　成美
夢山ゑ沈ゑ豆の様ゑ　蒼虬

於久夫
末不古何

槙立山　おともきぬ夢の月夜や小松山　以前女
ちゆさゝや桔ゑつ山の冬の月　美ち彦
鶉多鳴や桔立山の鶉のくも　和水

冬山　何ゑ波の夢ゑ起ゑきゐや冬の山　上野　乙人
冬の山木実料の実粉無き　叢
二度雪の出ゑ水ゑるぬ冬の山　茶静

小山　風ゑゑや小山の春の合鈴の音　古　政二
小山ゑ川寄麗に浴す田折来　季珉

秋山　秋の山くち明色にはも重物　宇橋
月ゑ雲ゑ立ゑゑ夜や秋の山　雪翠

笹山

[illegible]の人にて[illegible]枝の山　梅塢
[illegible]　茶靜
[illegible]の笹山[illegible]　曉臺
鶯や雨の笹山[illegible]　墨山
笹山や小男[illegible]　巣兆
笹山や辛夷の[illegible]の下[illegible]　竹人

北山

唐櫃の北山[illegible]　召波
北山の古土[illegible]　美ち彦
北山に[illegible]　雨考
北山[illegible]　車両

深山

[illegible]深山[illegible]　阜池
[illegible]　壺羊
[illegible]深山[illegible]　碓嶺
[illegible]深山の雨[illegible]　多代女
[illegible]　ちり安

鳴山

[illegible]山や[illegible]　沙明
島山も[illegible]　禾木

檜山

[illegible]　曉臺
遠の[illegible]　石湖
[illegible]　恵谷

脊戸山　草枯や[illegible]波に脊戸の山　白雄
鳥の巣や[illegible]人送る脊戸の山　古　政二
[illegible]の[illegible]や脊戸[illegible]の[illegible]山の[illegible]　禾桂
砂山　角[illegible]麻砂山を[illegible]　包抒
砂や[illegible]や三里五月の雨の中　蕉雨
砂山や小松の中[illegible]菫[illegible]　梅壽
杉山　杉山や夕日[illegible]木[illegible]　袁丁
杉山や[illegible]夕霞　湖外
山畑　山畑や[illegible]も[illegible]　白雄
[illegible]や[illegible]時　舜路

世寸
波加

山畑や[illegible]　周行
山[illegible]　[illegible]紀
山ノ端　山の端の[illegible]も蛍の[illegible]　乙二
山の端や稲[illegible]　寄渕
山鼻　山鼻[illegible]　保吉
山[illegible]　宇橋
山陰　山陰や菫[illegible]　卧鵬
山[illegible]　東[illegible]
山陰[illegible]　菊所
山陰も里の[illegible]　鳩古

山風

山陰や朝日のうへ我虫のあと　可景
山かきに春しらせて時鳥　阜池
手放さくらや山風の案山子　布雪
山風や夜もぬらさぬ車の草　川峩
や満ちに寝て電の草に明る　利雪

山家

源しさに年も春らぬ山家人　五芳
朝なしに雨に粥とく山家で　省吾
卯の花に訪ひ山家の日数角　敬翁
初氣に笑の拂ひぬ山家で　古楽

山中

山中や人の住とて梅の咲　隆道

加奈旅

山中や余の花おけよちる梅　一肖
山中や白きものさく百合の花　喜丁

山表

蘭に英や川にふたかる山おもて　和田丸
門松にむかひ合けり　山表　茶静

山ノ奥

煙の春ハ山の奥にも波さまりけり　士朗
名月や山の松にハ山の月　樗堂
焼てこ我人の住なき山の奥　阜池
思ひ入山の奥にも咲子かな　車來

尾上

うき雲の初葉に晴る尾上かな　白雄
鳴るの尾上たるまでの東の雲　蒼虬

朝鹿の一般下りる尾上ゟ[illegible]　團歌
萩咲て雲低く来る尾上寺　馬梁

山口

山口に法も法ゟ如ふや五月雨　存義
和葺に山口光るさ芝生寺　白雄
山口や刈干ゟ紫に秋の雨　玉蓬

山邊

各々は来て山邊の居よ手宋樵る　美知彦
旅姉し山邊もすむ蘇の裏　梨山
赤以雲雪の山邊を通ひ[illegible]　捍歌
こそ以行源を虹ゟ川山邊寺　一肖
宗燒も留ゟの山邊や出さく　梅壽

久邊天
阿喜

山手

萩吹や山くまにまくる雲の隙　星谷
芦の根に草茶咲し山手哉　石苻
も来さのくし暴する山手哉　正六

山間

山ゟや旅にすてゝ法笠の雨　士朗
山ゟや煙のうへのこゝきの風　谷雄
山間や月日を走くくし川　畑涼居
山ゟや家のかゝるなと桃花　柳寄
山ゟや舞しもとゝ九月雪　素僕

山際

山際や水にふしゝる百合の茶　一肖
山際は絶ゟ古塩をかゝさゝ咲　梅塢

山本

山もとや七日志ら海ら物の春　羅城
山もとや雪ふ河ゆるき東の水　柳荘
山本や沖く人かけも茶曇　貨僕
山もとの日をも抱井の深さ水　昌人
蔵鮎や山本の日のくまにさ　宗菟

山住

山住の嬉しき夏のはしめ哉　升六
山住の星ふ物しきこそ水　谷雄
山住ハ降ゑ知るや芙蓉咲　星谷

毛寸以

河内
生駒山

家のぬけて梅も霧すや生駒山　美知彦
そのくらやも生駒ハくらし東の月　武陵
清けと教垣のにあらや生駒山　知牛
虫なくや一夜ぎなきいこ波山　一肖
坂き焚人の春ふ大まま哉　茶静

伊賀
伊賀山
、越

知と谷の時夏さくふや伊賀の山　亀才
出代の袖のうへなきいかの山　朴端
伊賀越ハ茶を時夏の知とつき　一肖

伊勢
伊勢山

伊勢山のいくしたらゆる寒ゆ菊　士朗
いせ山ハ神代より鳴甫とき寸　樗堂

甲斐 ○犬目山

大目から雨をうり出し照射なり　王光

晩稲ニ云日和つきや犬目山　護物

近江 ○石部山

只云と川鳳ハゆくん石部山　蒼虬

冷麦に兀て法をなし石部山　十丈

露草に染ばしけりいしへ山　米佛

雰さつや鶏もきかぬ石部山　鍋堂

早稲の色や夕かけ暑さ石部山　護物

仝 伊吹山

尺はかり稲穂に記録し伊吹山　大江丸

馬かりと伊吹の雪を春の雲　一具

伊吹根のくさ法ゑ斗月の雪　茶静

以

青すゝまし伊吹の樹ちるまに鳥　宇橋

白雲の春にハ老たり伊吹山　素鶴

仝 石山

石山も月の名ゑのよ朝ゟ　少汝

石山の春ハ明安しぬ春菜蔬　木海

石山も星と星の春の夜　閑歩

いし山や屋根の下ゆく時雨　喜代女

石山やまの春れさし春の月　青皮

美濃 稲葉山

いなゝ山や岐阜の苗代よき時分　巣兆

世かしこ良てくなるやいなゝ山　吾朴

さほ廉のいとも栄来れ稲葉山　護物

山名手山（南貝）
さつ屋やぞ三ハ越重さし岩手山　宗讃
月まつ川や岩手の山を見ひし　谷雄
苗代に遠かけきし岩手山　万磨

岩城山（仝）
世なしてこゝのうつ東ぬ岩城山　草琚
こすくも冬の日をやし岩城山　志兮

入佐山（但馬）
月にゆし照射にかなし入佐山　樗良
日にしらにあるや冬葉の入佐山　千崖
冬の日秋かけ育なかし入佐山　吐山

初瀬山（大和）
さつ瀬山一夏詩に痛む僧ゆらん　曉臺
新堺貝の初瀬に鶯ゆ霜　士朗

遅櫻一本に初へるさし瀬山　寄渕
以さてふ雨に初瀬の薄葉ぞ　河雄
山寺の初瀬にハ河らし東の草　廣陵

笞根山（相模）
さらに稀も雪ハ来にそり雪に寄　葛三
時自明雪よふ篠の笞根ぞ　昌作
来かるしや寄にものゝ笞根山　洲香
ゆく年の寄を余にやさらぬ山　葛古
山以やそしもいそうぬ笞根寄　菱垣

○搽名山（上野）
花によ新そきへ心さし搽名山　志けと
時寄二度の初寄やさる根山　旬光

[illegible]や孫星[illegible]の樣名行　茶靜
夏の月樣名の山[illegible]　荷乙
[illegible]や木[illegible]の[illegible]山　以吉
[illegible]越[illegible]や光[illegible]　羨[illegible]
[illegible]やめ[illegible]の[illegible]　葵亭
[illegible]仁井田山　寒[illegible]
人住[illegible]仁井田山　碓嶺
[illegible]菓や[illegible]の山　元風
[illegible]金[illegible]丹生も照射の山[illegible]　松杜
丹生山や[illegible]も[illegible]時　岐久守

山城
○加意ヶ嶽
上野
仁井田山
越前
丹生山

山城
鳥部山
[illegible]山　大江丸
[illegible]山　幻亭
灌佛や[illegible]辺山　茶靜
納[illegible]人[illegible]稀[illegible]山　喜椎
近江
鳥籠山
猿の子の[illegible]山　斗月
[illegible]の山　米佛
秋[illegible]目の[illegible]山　壺羊
夜[illegible]の山　土水
[illegible]人[illegible]の山　鶏周
鴉の[illegible]の山　玄阿

信濃
○床山

越中
砥波山　笠ニ書て来し砥波の初時夏　布雪
眼の先にあるや夏ものとなる山　義香
志るまゝやとゝへからまし砥波山　越児
とあるゝ山や鵠の出て舞ふ田ゝ忘れ　箕青
越後
○杤窪峠　杤窪のうゆや江戸からみゝ来りと　雪彦
とち窪に雨をあるや屋のあり　岐久守
椹津
○茶臼山　日〳〵の時雨半夜里の菓臼山　蕙布
朝日負ふて鶯なくや菓臼山　箕山
武藏
○秩父山　秩やまやちゝ姫の山に炭を焼　雪彦
秩父根の裾引たゝて菓の秋　乙二

登知乎

柳よきゝ家やちゝ姫の水の来　亀丈
雲枯や庵からしく秩父山　太良彦
ある夜や秩父へ消るての川　和田丸
山城
小倉山　秋の日社舞ひ小倉山　一統
菊の香や雲ハ月の小くら山　一肖
永き夜のも秋の月の小倉山　柳尾
仝
音羽山　涅槃会や雲の下ゆくる青羽山　暁臺
松松のゆふる青羽の四月かれ　青阿
ちまの夜の夏に明るまとゝは山　岱李
仝
小野山　煙してみるとゝせられ小野の山　曛橋

全
小鹽山

岸屋くの小地の和山の新日雲　草雅
萬ろんにすまきたしほの山　櫻　蕪村
櫟家具も青き侍菊の小鹽山　菓兆
苔葉の緩をうけたる小鹽山　一ヶ月
みしうまや晨こそ明し小鹽山　迦孫
志ろ浦やれに日の詠るをしほ山　巴水

伊勢
音無山

鹿なくや青ゐし山の法体色　淡水
青明しや山の蛍の藥に下りる　護物

信濃
姨棄山

よしやそ姨捨るとも来の山　蝶夢
たとえ山の雪に入れ三日の月　白圖

乎和加

姨すてや石におく身も月の為　蘭更
思ひ雲の如く月姨すての月に雲　伯先
いさよひは笑ふしかけり姨の山　玉蓬

陸奥
不忘山

鶯よりとりけり山の夏を寄け　恒丸
栗まくや忘れぬの山雨まくし　乙二
りとりけりの山　我をこそ和子　鶏周
ことまきすれ山かけえて渡る雁　兎柳

山城
鹿脊山

菊ことさしちる日社夜かせ山乾　杉長
夜かせ山も衣着ぬ茶紫　兎文
猿にこうも　かせ山は面ひ　梅壽

涼まくや衣かせ山 蕭るまくて　護物

仝 笠置山　五月雨や人は家もつかさき山　奇渕

大や舟の笠を重ねゆし　杜鵑　布雪

仝 笠取山　笠ゑは嬉しきたくるの雨　壺手

豹ゑや笠とり山をおろしまり　田都喜

笠ゑの山詩もこえて霧は雨　一肖

大和 葛城山　東の東やかつらき山を枕もと　布雪

夏ゑの那葛城人に陳にゆく蛍　平雄

かはらさに明てかりうしかき取　上毛 乙人

葛城の東をきらけれ涼ゑ蓋　碓嶺

かつらさや蛍の雪も明おし　菓静

仝 春日山　何は雪やそそかつらきし東日山　蓼太

良ゑのきしきし深ゆり東日山　升六

春日山を笑おけそこ得る也　一肖

桜の宿ふりきけそ水そ東る山　漫々

是合や春夜語ゆし東日山　桟車

仝 片岡山　何しろ雪片岡山へ性て寝ぬの　杉長

百舌ゑやかつら山の鶴つる日　越児

旅人の片岡山も鶴しらまし　静翁

仝 香久山　香久山のうしろ日ゑきし桜　哉　米彦

秀久山に海照る春の日清さ　屋鳥
苗代に天のかゝる山ゝ日ゝ雨　拜禾
かく山に寒白をむける庵ゝ雪　寸風
秀久山の芝とはよる扉ゝ角　南井

甲斐
甲斐ゝ根

甲斐ゝ皆月に老すてあきを遠　美ち彦
甲斐ゝ根や秣の中の菊の花　草鳥
丁斐ゝ根の董茶頃染木ゝ角　且々
うしゝ根をとゝ野もさかまて秋の雲　多代女
寒るしゝ甲斐の土産や山の月　吐山

相模
鎌倉山

清火焼や鎌ゝ山ハ星月夜　鶯笠

船来にく鎌ゝ山や董さく　逸山
菜の花や鎌ゝ山の家の宵　素融

常陸
鹿嶌山

汐風の松の黒ゝやかしま山　柳塘
清ますまゝにさゝゆる波や鹿嶋山　淡水

近江
鏡山

五月ゝ月や松もこえてゆゑ鏡山　土朗
鏡山いさ老ゝ水ゝ雨　日人
何しろ寄ゝ老ゝゆゑゝ山　省吾
屋ゝやかゝさ波なる鏡山　草均
来ゝしや一日ゝさゝゝ山　三我

信濃
風越嶺

風越のこゝの桜やちる夕　宗讃

風吹しの時雨をたゝへほとゝきす　士朗
風越やすゝ[illegible]ゆゝもわかくさ　松兄
風越に立ふたりし[illegible]哉　壺伯
越前 帰山
帰山にかりとハきゝ法大体儀　耳行
志ゝ[illegible]ゆゝ亀の雲やゝへ[illegible]山　竹馬
豊前 挿頭山
汐合を尺てやかさし[illegible]　葵亭
郡の[illegible]やかさしの山の[illegible]　千賀女
大和 吉野山
在明や[illegible]山　寥松
秋ハまゝ[illegible]葉に[illegible]　文晁
[illegible]雲も[illegible]の山　茶静

加与多

[illegible]ても[illegible]ん[illegible]　梅壽
引ふる[illegible]や吉[illegible]や[illegible]　斧杖
信濃 ○横吹峠
横ふきや弱もいなく雪[illegible]　闌更
よく[illegible]ハ[illegible]のは[illegible]哉　叢
横吹や志ゝ[illegible]の神に来る　桐堂
山城 高雄山
もこゝ葉や[illegible]の下てる[illegible]山　闌更
[illegible]先のも[illegible]也[illegible]山　士朗
志ゝ[illegible]や[illegible]ハ葉の[illegible]　月居
おもしく[illegible]時[illegible]　志ゝ女
[illegible]ハ[illegible]　谷雄

○仝 大文字山

雲ゝ月の不動ゆるし大文字
大文字やさしのこそかまゝなる孫
大文字や一ふさ山を深くしめ
大文字の積つきまゝ山の積
大文字の灯かけ行かり砂筥
夕月や樹干らふて童田越
雲はなひ名ことまゝてや龍田山
木枯や龍田の夕し起いり斗
かけそもひとゝ越らん山
落ちや居とすまゝ今ふ童田越

存義
菩村
園更
一具
石荷
門麗
白雄
月居
詠帰
調意

多

○仝 高間山

雲まても深る秋かや二る月山
月明て照射志らけぬ二る山

○仝 高圓山

二る波とや峰の春風雲捨ふ
二る波とも雪の梢と朱にけり

近江 田上山

蚊やり火や田かゝの積ハいつも明
田かゝや陰にあり行螢のあり
田上も寒ゝかゝるや何しらず

信濃 ○蓼科山

出んに深し蓼科山を南うけ
蓼科の雲より出し蓼麦の茶
蓼科や雲もよこさしさしさ

恒丸
亀貞
暁臺
對慈
士朗
吉丁
淡水
美ち彦
敬齋
護物

仝 東稲山

[illegible]

星谷

[illegible]

玉光

下野 ○高原山

[illegible]

星谷

[illegible]

以吉

丹波 ○丹波山

[illegible]

虚白

[illegible]

一具

[illegible]

茶静

常陸 筑波山

[illegible]

梅壽

[illegible]

秋峯

[illegible]

草均

[illegible]

気代女

[illegible]

星谷

紀伊 七越嶺

[illegible]

茶静

[illegible]

悠川

近江 長等山

[illegible]

湘夕

[illegible]

蕙布

山城 宇治山

[illegible]

柳塘

[illegible]

士朗

[illegible]

月居

[illegible]

五雲

大和
畝火山

遠江
宇都山

宇治山を肩にて梅もつ小家かな　布雪
五月雨や霧に宇治の山　如斯
頂ぞのうつ丈高きや畝火山　恒丸
梅に逢し桜にやし畝火山　越児
其うつや霞のうち畝火山　梅守
山吹も渡て見るうつの山　美和喜
夕かすみ越てくる坂やうつの山　知白
蝉の声やすみまとゆる宇都の山　馬年
夕かけや猿に蝉啼うつの山　草雅
振向て秋も見るまでうつの山　元風

甲斐
裏不二

信濃
碓氷嶺

越中
卯花山

裏富士や花にゆく九合羽　宗讃
さえわたるや夕月の裏の不二　淡路 青岐
裏不二や昼うつる湖の雪　曽人
寛遊来る碓氷に越る夜そ　白雄
かかる厳の碓氷嶺や木魚の声　松兄
れくもりやうらみ枯の碓氷山　亜明
夜霜来る碓氷の山は山の上　玉蓬
梅咲て碓氷峠八幡の林　茶静
名を慕ふ卯の花山や見る人白　吞喜
その田や卯の花山に光と峰　耳行

星合やうの山に寄る時を　希拙

若狭
後瀬山　沖のせゝ海目てうへ遠瀬山　曉臺

初原の浦瀬の山に流さるを　逸山

東風ハ赤以ものゝ瀬山　年緒

山城
男山　夏の月水を繰まて男や卩　岳輅

月源し南へなりき男山　北夢

日の和の月ハ出さきおとゝ山　雄渕

袷見て親きに出るや男山　野揚

仝
大原山　学るや大ハし山の鉢の雲　一氏

柳村大原山や神の霧　里湧女

乃於父

丹波
大江山　何るもなき世を雪の大江山　方廣

夜嵐の圃姉裏に来ると大江山　樗堂

下前や海にくりての大江山　平雉

冬の来て芒にあらぬ大江山　宇橋

射干の葉に片白ゆし大江山　茶静

山城
鞍馬山　保りきよ鞍ハ梅のくゝる山　白雉

倩何まくゝるの軒をもしら時雨　紫曉

新云初青ハ比敷りくゝ集り船　玉屑

下雪の怪にくゝ鞍る山　一樓

鞍る根の底の伏家の東をさ　茶静

○大和 掾岸

蜀魂まことくらるの峠かな　鷺秋
初葉する秋もくらかり峠哉　越児
名月やくらかり峠道の比ま　梅壽

○上野 久呂保山

むらし雨や雲をとる呂保の時雨　旬光
雲をとる雲をくら保の根絡や夜嶽　以吉

○下野 黒髪山

鯨ふる川黒髪山を打湧かな　大江丸
雪とはへる黒髪山もなつしき　一ヶ月
清まさに黒のこと山も光にけり　正人

○越後 黒姫山

黒姫や海へくれこまでの山雪　芝蘭
落る夏刈や黒姫山も初葉しき　一ヶ月

久末

○豊前 窪手山

俺て何かぬ黒姫山や桂の月　梅壽
のへ清けに五月雨をし窪手山　小圃
夏鶯ぬ青や窪手の鶯を為　一ヶ月

○摂津 摩耶山

摩耶くるとてや田螺の茎をする　茶静
菜のゑ花中へ落るや摩耶の猿　淡水
学るや摩耶かゝる粘にそこまて　一具

○武蔵 待乳山

木枯の中に人ゆくまつち山　野松
甫とうさす鳴や待乳ハ雨の中　萬古
ゆゆゑとつゝえて待乳の日落ち　双史
五月雨や沖の日ふまつち山　巣鷲

七夕や待 乳の出を舟の月 護物
山城 伏見山 十月や花の末蒼ひふし山 申翁
ひり井や旅に何ら日の伏見山 岐久守
仝 深草山 深草や山のうへまで草の月 月居
乳の日や深草山に秋る雨 梅塢
仝 舟岡山 秋雲の夕日出てえり秋雲 玉光
秋雲や秋雲さしてあく鶴 護物
三河 二村山 二むらや千鳥ゆる山のきも 士朗
ふる村や三河に出る蛇の月 岳輅
二村て鳴ることやほとゝす 其雀

不古

駿河 富士山 常にかえて富しき白紀五月不二 尋彦
いつまでも鶴のさまし富士の山 素蘗
梅かまやと出来そめて夜の不二 年緒
煤てきや猪もへぬ事てふしの山 茶静
常をやくりし此事も不二の山 玉光
相模 双子山 いなほまをうし鶴にまし 双子山 旬光
はてつゝのこまとゝ ふたゝ山 さち戌
鶴鳴や車の夜 きさまふたゝ山 竹和
甲斐 ○小佛峠 杭鳴や小佛にゆるゆるり 楊 一肖
冬の月小ほとけ峠越にけり 梅塢

武蔵
御殿山
[illegible]
虫[illegible]
年[illegible]
[illegible]
信濃
駒ヶ山嶽
梅ヶ香の[illegible]
[illegible]
越前
越中山
[illegible]
[illegible]
甲斐
天目山
[illegible]
一[illegible]天目山の[illegible]

箕山
湖外
一蕙
箕青
伯先
万橋
吐山
松杜
春路
箕山

山城
嵐山
鹿笛の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
七夕の夜とて[illegible]
[illegible]
仝
栗田山
[illegible]
[illegible]
伊勢
桐ノ山
[illegible]
[illegible]

岐久守
泥中
多代女
玉光
川峩
一司
篤光
梅價
一草
秋夫

三味線も芝浦葉お絹しやおの山　雄渕
家毎にいとゝも知とつおの山　蒼虬
仝
阿保山　夕立も阿保越さしや北日さす　夏長
阿保越や海をさしつゝ見霧　玉光
駿河
○足鷹山　阿し鷹のうし絹ハ霞む霧の南　五岐
阿し夜のもまけ絹ぎおく四月ぞ　宇橋
相模
足柄山　足柄の山甫とき絹詩の子ぞ　澧水
阿しかしや一あらかりる深とき夜　柳塘
足柄や滝月夜のいさまれ　亀貞
まて扇阿しかし山を波ろ雲　掬塢

足かしや雲の青する篠の中　箕山
仝
雨降山　雲雲の袂に入やあつり山　圃更
打ちのきふの名にきよ首峰山　鳥習
中口まてあさとしつや首峰山　こき女
仝
間ノ中山　下雲や雪の中山おもしろ　護物
菜瘦ぬ雪の中山ぞやしと　岐人守
武藏
○飛鳥山　咲そちる深世も飛鳥山さくら　存義
枕の月やまるてのおくてのあつり山　圃更
こしかきの家の名をさよ飛鳥山　曰人
芒よりはそくしかり飛鳥山　是谷

常陸 芦穂山

人ハこゝ[illegible]に[illegible]て花[illegible]山　其翼
白霧をかゝてや鶴の[illegible]しほ山　存義
すちかふく[illegible]月[illegible]芦穂山　悪夕
杖の日の[illegible]あし[illegible]山　淡水

仝 雨曳山

[illegible]山や杖[illegible]　洗志
[illegible]帰る[illegible]の[illegible]　護物

美濃 赤坂山

深くきの赤坂山や杖の[illegible]　沙鴎
く[illegible]日の赤坂山や旅の[illegible]　吐山

信濃 浅間山

[illegible]室の日[illegible]の[illegible]　斗入
[illegible]の煙か[illegible]　伯先

草に[illegible]の時[illegible]　上野 志[illegible]
[illegible]ハ[illegible]　叢
[illegible]の[illegible]や[illegible]の[illegible]　玉蓬

仝 有明山

夜[illegible]山を[illegible]迷ふ　圃更
[illegible]代の[illegible]山[illegible]杖の　可厚
菊の[illegible]山[illegible]雪の[illegible]　宇橋

上野 赤城山

赤城[illegible]　一具
[illegible]　上也 志[illegible]
[illegible]ハ赤城[illegible]ゆる　左良彦
赤城[illegible]の[illegible]　巴水

赤城根や元津のする五月前　以吉

陸奥
安積山

黄鶯のなくつるしでや安積山　素月尼

山の井はいかさかもこえて掛菜　清風

乗鶯のかけや安積ハくめ曇　多代女

枯くりや岩にもこれる何さか山　雨考

松ゑしと来　詠かくしたる何さか山　雲帯

仝
○富多良根

主ゝ鶯の日を追入ぬ何ことら根　暁臺

合鍬越の夜ハ物ことら孫の来ことら山　日人

吾田之居や翅来てしまとる新居　一宵

鶯の来ることまたし吾田之合根　谷雄

何ことらに来ゝ川かけてなく　雄　雨考

仝
○會津根

會津根ハ雪をとちのこや棟さく　多代女

来かくし結頃に重ふや會津山　五岐

赤出の万口日志し　会津山　箕青

會津根の遠く晴ゆくしたるこ　春路

出羽
○温海山

鱈つるの脊をもこせゆく温海山　菜静

来る鶯も同にほく牡やいつこ山　洗志

雪を水や鼻の先ある温海山　三系

何つこ山や称るかけれく合鍬の峠　以吉

越前
有乳山

あくちゝ山に帰りひもやまぬこの月夜　雪彦

ゆく雲にも宿れ有明山　菜静
詩うまひくあらそやあらの山　士升
栄ゆや夕越くらきあらの山　杉杜
朝倉山　猟人や朝くらの山の星を夜　喜翁
朝くらや枯木もこまれうんこ雪　喜旋
肥後
安蘇嶽　上野同名
ちらのよく栗の明りを安蘇の瀬を　葵亭
白雲ハ花の雪のくらしあらの山嶽　吐山
山城
嵯峨山　花に對して嵯峨の山なつ山　月居
きう山のこえ夜恨しや袷見てる　素龍
嵯峨山や篠の小陰をまハ行　化竜

阿佐

凍くきや梅にふくもさいかの山　好く
嵯峨山や這入口より菊の花　一蕙
大和
佐保山　佐保山も鄙の忌日や甫ときは　亀丈
遠江
小夜中山　まさ川や佐保山姫の雲の神　まう女
小夜の中山正月越もいのちかな　一音
雲の鶴や小夜の中山越すん　乙二
中山の松のまよりも月東ゆ　壺中
朝うれや小夜の中山はてこゑ花　南井
中山の昔なくはなかく田螺　大梅
駿河
○薩埵嶺　花にぬるしんもとまや薩埵越　無彦

武蔵
狭山

佐渡
○佐渡山

山城
○京ノ山

郁賀
柳尾
竹枝
沙明
護物
萬象
二川
如水
一茶
洗志

今
衣笠山

信濃
木曽山

陸奥
○金花山

甲斐
夢ノ山

存義
大梅
護物
白雄
竹堂
谷雄
素行
恒丸
其翼
玉屑

菱山かたり合あまやあら籠　舊古
菱山や枝の光にてはよもつかし　平雄
ぬく見る菱山にしてゆるまり　護物

豊坂
木綿山
蕪汁雲のゆゑ山翌はくらす　葵亭
木綿山や蕪のまゝ朝日和雲　玉光

大和
三笠山
山の矢れ三笠に山や春の雲　百堂
春雲のおかさまに三笠山　五岐
常の家から霧ん三笠山　呉雪
三笠山の竹にかゝ海やその川　[illegible]元女
会うを形しこしきん三笠山　宇橋

三笠山
菅薦るこむろも秋のゆゑ屋ぞ　枝厚
きぬこうちうつや三室の山の月　旬光
鮎落る雲や三室の山の雨　巴水

仝
耳梨山
あらうすらん耳なし山のよふこ雪　月居
よしきまや耳梨山を日く海に　多代女
達磨忌やこゝなし山の葉折了　巨泉

仝
三輪山
三輪山の古るかゝ地明る曳　美知彦
三輪山や春の川きの川なる　佛朔
こゝ山や杉のつらに秋にちる　半[illegible]
ゆく屋の海も清かにこの山　皎月

近江
三上山

四方から冬の世を海や三上山　鳥頂
丸しくと小さ海に出るとこそ三つ山　青々
宝月をかくえてまさしや三上山　舞鶴
三上から雨も来そめぬ東を宝こ　炉扇
葉の谷の清けさ居るや三つ山　茶静
日くらしやこの山こゆる山もある　蒼虬

美濃
美濃山

初雪や美濃の清山は雪清き　春器
この山にまくる鮎りや稲の谷　岐久守

信濃
御射山

御射山やきのふも芒ゆふは里　蘭更
御射山の月にて麻の鳴東ぶ　完来

美之

こさ山やはさ行秋の門　揉　百堂
御射山や戸のなき家も月の向　詠帰
御射山の雨をたくふや雪の鹿　春路

甲斐
白根

雨くらき夜の白根を屠ことる　暁臺
百里来し甲斐ゆる夏の白根ぶ　蘭更
ゆしきかけて鳴や白根の時鳥　秀彦
白根こそ先初雪を尺寝ゆ角　曽人
たつ午や白根の雪を眠るさき　且臺

仝
鹽ノ山

家こそ入て夏の鮎麻や塩の山　嵐外
こ入のふるも鳴や塩の山　真恒

近江
志賀山

やかうへに和尚嘆ぬ猿の山　弄化
京後の春夜さまして猿の山　護物
小口かうに松あるまゝ志賀の山　鳥頂
志賀山や猿に嘆ぬ猿に遥　黙巣
志賀越や雛の猿の猿の春　春志
志賀越や一足猿に秋を踏　元風
鶯や老を鳴ぬ志賀の山　元暁

信濃
鹽尾峠

猿尾や不二へむけたる虫の蝶　詠帰
猿尾や峠に有りて蝶に老　大梅

陸奥
信夫山

志く都に夏に入りし信夫山　月居

加賀
白山

詠志さ都方も菫花志のみ山　巣居
志賀ふ山只の山より猿なれ　黙巣
うらはまも老の名とる花信夫山　鶏周
蛍とふもしのいのちや志のみ山　迦孫
半めまゝに山根をきたるの行つゝめ　丞彦
鼓なるやや白根のとしの薯　布雪
白峰にうし猿ハこきはうめの花　加賀　其翠
雪ふりや山根指さはきみの月　木雄
志く山や松の霧にむ夏の雪　菊角

豊後
紫澤山

栗の積のふりむくるや紫澤山　葵亭

笠縫へ志まらや雪の志ほ川山　玉光

山城
○東山
志ほ志ほにも志ほり有りし山　舊三
夜嵐や十東の中の東山　蕙布
蚊の声も別て住のし山　逸水
鳴蝉に月も出しけり　東や下　茶静
初とりや雪のとさ也　東山　一司

志ナ
○日和山
飛鳥の雪に住たる日和や波　長翠
六月の夜を見に行ては和山　左母里
雪鳴や雪に秋生ます日和山　瓜涼

近江
比良嶽
春寒し比良の日おもてへ流鳥　暁臺

比良伊吹雪をくらへるめく也　宇洋
春の時や比良の夕雪余所にみんて　一耕
野ならや雪ならぬる比良の嶽　一水
雪翁や岩根しこく比良の嶺　里湧女

飛弾
○飛弾山
飛弾山の雪にる時や菊の也　一具
飛弾山の雪に秋侍りいる案　巴水
飛弾山　秋稼なりまた清水也　菊角

信濃
一重山
まつ川雪や東の風にての一重山　長翠
なら麻の志ほりに笑ぬ一重山　如水
手ならきにて清日和や立と思山　苣丸

加賀
○雛ヶ嶽

山城
○桃山

摂津
○須磨山

伊勢
鈴鹿山

和尚ゆ夕居る雲の一座山　三百
置かえて雲を係しし玄と意山　護物
鈴り嶽夜の白根ハかくまて学　白雄
さと雪の花よ清くよ鈴り嶽　其翼
桃山や裾をうつとる人通り　樗良
さく山やさくハさくり紫麦をけ　泰里
桃山やさくら紫落る霄て来　和水
麦り作る風り作も清ケ山　樗堂
清ケ山の学ふ雲の来の麻　泰里
青を入て学ることし稲麻山　阜池

近江
○摺針嶺

陸奥
末松山

在明のまゝ入や稲麻山　省吾
虫放す草や稲麻の罪の詞　加賀　其翠
傳や霧星の中なるまゝの山　旬光
むのふる雲なる越ん稲麻山　梅壽
摺針の峠うえ二日蒼　里湯女
すゝ針や餅後風に鳥の鏡　舟静
久久まて来の松山志ゆ　渕鯉
草むや来のまゝ山いつの事　一具
まゝしさや来の雲山一くらゝ　蕉雨

名所千題発句集巻之二

○谷之部 并 坂岡

谷狭間　さし村や拙の咲こまた谷狭間　茶静
　　焼かけてこゆるや狭間の谷清水　恵分
　　群鳥の時間さらふや谷狭間　こさ女

谷ノ戸　谷の戸の雲をすまてや鳴る鶯　可厚
　　谷の戸や咀から月の取く蕎　亀貞
　　谷の戸や清水通してゆく鶯　箕山

小坂　雑家鳴やかくしと下流　小坂居　下野　のつこ

走り出の神の小坂やこゝ行ふ　一蕙
尉が門涼しとむけし小坂の角　宇橋
霧老ゝ小さ叶より低き小坂茅　雪彦
岡辺
岡の邊や風もて捲ふ淋くし　徐来
ゝ捲ふもとる岡邊の邊やこの川　可厚
江の岡岡ゝ邊の明ゝ子武ゝ元ゝ　元碓
谷陰
谷ゝ仲や人を並へて時ゝ　川蘇
谷陰へまゝ西日や　多　樓　箕山
坂口
坂口や外のこへ然ゝ来　鹿太
坂ゝちや風のこゝ内る夜木立　静翁

平多佐
伊波

坂口や埃に垂ゝき落ゝる　護物
摂津
一之谷
おてしこ然ゝ清よし一の谷　素芯
賜ゝて茱萸ゝ川ゝ一の谷　菜静
秀晴て月すさましや一の谷　[illegible]
鷹ゝる陣同何て来ゝ一の谷　淡水
うつる世を麻のこ老ゝ一の谷　護物
紀伊
杲無坂
杲ゝ日や杲ゝし坂の本ゝ紀　[illegible]
襟に入杲ゝし坂の茂茱ゝ　里丸
雪の朝ゝて坂をゝ見ゝ行ん　梅壽

丹波
光ノ坂
[illegible]
[illegible]
山城
神樂岡
[illegible]
相模
○亀ヶ谷
[illegible]
武藏
○神樂坂
[illegible]
近江
○蟹ヶ坂
[illegible]

太祇
宇橘
白絲女
玉光
[illegible]
[illegible]女
宗讃
耳行
梅壽
存義

[illegible]
[illegible]
武藏
○四ツ谷
[illegible]
山城
○僧正ヶ谷
[illegible]

迦孫
素鶴
霞江
多代女
一蕙
双湖
護物
佛美
春器
岐久守

○伊勢 杖突坂

旅下衣の杖つき坂をは走れど
鶯や杖突坂にし老を得
うらしまも杖つき坂に吹ける日ぞ

一具
周馬
詠帰

○信濃 霖覚床

鶯の床かや稀きめの床の松
鳩ふるやこ床見の床の高下ヲ
世の杖を知るやあらしかゝ雲の松

其行
岐久守
知語美

○山城 双ヶ岡

鶯や月とゝ双の雲の朝

三系

○大和 奈良坂

初雷にたふ日坂こゆる男ゝ有
あら坂や餘につきこそ山さつら
出娘にもたふ日坂越ぬ稲の雲

升六
奚疑
木雄

津 孫 奈
宇 井 矢

あら坂や蜻にはかるゝ笠ゝ
松のまゝにたふ日坂ふりぬ東の鶯

素鶴
護物

○甲斐 鶯谷

ゝ家ことゝらしにす谷や笠来る
神さし鶯谷の苔しこつ

里丸
菊角

○相模 井戸ヶ谷

雨やめてにちこゆきらん井戸ヶ谷
菜ふるゝかや猿ゝ孫の井戸ヶ谷

呑意
鶏周

○山城 八坂

京りてハ坂をとりける日傘ぞ
恵祢ゝやハ坂ゝ東も慣ぞと川
鶯の中にハ坂の九輪ゝ家
こ詠もうつハ坂ゝ雨の寵こゝぞ

元十
梅價
潮水
護物

武蔵
○谷中　八宗の谷中も蔵に霞ふる頃　存義
沈に比てる谷中の塔よ冬の月　谷雄
学のあらまくまゝ雨ぬ谷中とも　宗義
くらしきや谷中ハくらきぬりを　沙明
別てきむ人よ時自の下谷中　宇橋

相模
○化粧坂　春志をし菜の花咲て化粧坂　詠帰
松にぬるも三歩さの月かけそ比坂　梅壽

武蔵
○佛谷　消滅る雲も蔵柴もふくろ谷　一小岡
ふとそ見る面やわり柴の袋谷　楽只

紀伊
藤代佛坂　せしくと蔵代へ出し扇か角　杉長

矢計
不阿

相模
扇ヶ谷　蔵代の霞にそむく畳鍋か家　菜静
月や昔阿ふさる谷も麦の秋　多代女
迎火や扇か谷ハ蔵るもやき　應尼
てふ飛やあふさる谷の花ひ香　菊角

近江
逢坂　逢坂や霧に袖する月の人　可都里
逢坂の木柴にぬるも乗夜とも　椿堂
阿ふ坂の花や志るへの人地も寸　大光
逢坂を抱て通りぬ井ぬ人　卓堂

武蔵
○阿弥陀坂　鶯も老を志るは乾阿ふる坂　筍亭
火串さす人も通るや阿ふる坂　舟静

武蔵
○雜司ヶ谷

花ふんこの寒し棲の雜司ヶ谷　昌作
好きぬやはしぬこの雜司ヶ谷　一肖
犬ゑ羅の眠まつく春や雜司ヶ谷　一具
塚崎や菜屋ものきれる雜司ヶ谷　禹立

山城
○瓶坂

水法の此に白しきつね坂　旬光
山ゑも逆こゑ水ゑの瓶坂　箕山

信濃
木曽浦坂

君ゆるまゝ川か浦坂の蜀竜　曉臺
鵜さしふ木ゑの浦坂の小雨か形　士朗
夕立や木ゑの浦坂のぬりとも　可瑞
せきとゝいのゑや神の浦坂越　葛古

左喜之比

遠江
○汐見坂

燈火の旅を行き星の汐見坂　巴人
夕晴の鐘いとゝや光ゆゑ坂　[illegible]
河縁の毒風にきゆる花汐見坂　梅壽

山城
○日之岡

日の岡や蟬のより風もなき附句　美[illegible]
日[illegible]風も通さん法ゑ花紫　五縄
[illegible]の岡やもつてまゝとし[illegible]　[illegible]
日の岡に休しふさへや[illegible]雀　湖友
日[illegible]や[illegible]に[illegible]　蘭物

○関之部

関ノ戸　寂の戸に鶏の何さる四月かな　みち彦
寂の戸をいつるや雲に鳴れてゆく　蒼虬

関路　玉ゆらかにゆるぞ紫の実路ぞ　白雄
行くまゝし寂路の何まのかな　雲布

○裏関　うら寂や常かよふむら木立　田都喜
裏関に獅子の宿る春雪ぞ　郁賀
うら寂や彼岸の老女五六人　大梅

関家　菓のむのうつとしくある寂ぬぞ　みち彦

木枯の青そしちり紀寂家哉　布雪
鶯の星踏て鳴寂家ゟ有　捍歌
夕ゟ鶏の桂芦にゆる寂家ぞ　草均
明星の梅に老らけ我関家ゟ　可敬美
関守　寂寞のいらけかゝるや雀乃子　みち彦
関寞の梅の先ちに秋の山　乙二
寂寞に梅の葉暗ふ山の庵家　吉丁
せきもの小て海のまゝ柳ぞ　一肖

越前
○細呂木関

和呂木や稙黄ニ成ル法く栗の雪　みち彦
ほそらさやめてこそ相も雨ふし　甘行

武蔵
霞ヶ関

帰る雁ニ霞ヶ罪や赤恨や　宇橋
豆蔵や霞ヶ罪のとりし数　護物

上野
○横川関

横川ハ和葉の巾ハ笑ふ　夜鹿
横川やさい東ハ志つゝき罪の月　亀貞
横川の罪ともとりや照射人　箕山

陸奥
○伊達大木戸

角力れの志なて帰ル伊達の木戸　暁臺
大木戸ハ艸の法さし蕎の木法　みち彦
ゆちさねの咲かくる日を伊達の木戸　赤守

保加与多
孫奈宇

伊豆
○根府川関

たこ屋にも茂ニ合ふ事や伊達の木戸　鶏周
温泉屋志の根府川越る法しかな　越児
歯朶賣の祈ふ川越る志ゑ冬かな　希拙

陸奥
名古曽関

しり社や名古曽ニ波の何るはかな　みち彦
五里ハもなこその罪や引板の春　葉溪
鳴屋の外ハなこそのとりしかな　晩葭
辞義なそ名古曽を出るに鶏の鳴　江月
東風の名古曽の関にまくらせり　一月

河内
鶯ノ関

鶯の罪ゑとしめのなしこそ　五呪
くらしまの罪なかくる此桶かな　春路

武蔵
○栗橋関

栗橋の関をとふ手ゆるべ　琴夕
馬の蔵のくり橋越つ　柳寄

美濃
不破関

月に雪をとゝ見よ不破の関　士朗
不破の月位見晴てハ来さるなり　秋峯
いつハ何まで柳ゆるの関　泥中
こゝ此をとゝ扇ゆるり不破の関　素童
秋也の春ゆるり不破の関　千年

近江
○小関越

常のこゝ小寂越　曉臺
もつくるや小関の郭公　宗讃
秋下ハこゝ秋ゆるや小せさ越　一葉

久不古
天阿

出雲
手間関

衛ゆるこゝ小寂をとゝ下りる事ゆ　木雄
中くるゝ小寂も菊の山ゆるゝ有　米友
花蓋い下ハ春のこゝの手ゆるの関　菓静
芽柳の深ゆるける雨やゆるの関　春路

近江
逢坂関

重坂の寂待たしぬかなつ　恒丸
何ふ坂の寂も大ゆるや春の夜　花紅
重坂の関も越ゆるの熊無文　菊角

信濃
會地ノ関

桜に出て樗の寂やほとゝ手　蕉雨
駕ゆり陳何ふちの寂やゆる交る　春路

加賀
○安宅関

月のこゝ花の安宅ハ海ゆるゝ　樗良

鯖うち社案行を越る安宅ぞ　白雄
筑ゝ寄りしとこと戸樫の案の頃　無言
紀伊
紀ノ関　岸をとふく紀の案なり火桶の有　召波
まつの弓紀のせきなり敵の得　圭々
陸奥
白川関　白川の田ゝ見えて夏よ鳴ゝ鶴　乙二
志ゝ川の陸ゝ見ゆる桑山子哉　布席
白川の案もこえて秋の雁　夏桂
霞源さ哉や白川の案ゝ事　平雄
初まや志ゝ川の案越る日ゝ　菜静
摂津
須磨関　ゆゝ秋やもしもと渡ゝて須磨の案　吐月

霞ゝ子社見詠まし須磨の関　露谷

○路之部

家路　雉ゝつて帰る家路の日ハ淳し　莓村
水皿の月家路の稿も清ゝらふ也　蒼虬
蒼いまく童くの家路や和の茶　洗志
薄葉かく家路や山の行ゝまし　菜静

善之須伊

濵路

夷橋に日の[illegible]濵路の[illegible]
濵ぶちや四五本兼ふ柳の[illegible]
[illegible]に雨のまゝ[illegible]濵路[illegible]
[illegible]入や杭の[illegible]雨に[illegible]
人に[illegible]て橋ちる[illegible]のこゝろ[illegible]
[illegible]に[illegible]て[illegible]葉のさへく[illegible]
[illegible]にも[illegible]ぬ[illegible]の[illegible]
橋[illegible]人の[illegible]田[illegible]
[illegible]の田[illegible]
[illegible]の田[illegible]の[illegible]

月臺
砂粒
春路
白雄
草也
羅含
宇橋
升六
月丘
箕山

○徑

田道

夜道

[illegible]の東[illegible]
鮎[illegible]東[illegible]通[illegible]
山路

瘦百合の[illegible]山路
深山路や古人もかゝる[illegible]
[illegible]の[illegible]山路[illegible]
雉[illegible]山路[illegible]
名[illegible]の山路ハ[illegible]の[illegible]

菓静
箕山
春湾
長宗
捍歌
千尋女

伊勢
伊勢路

[illegible]や伊勢路[illegible]
[illegible]

几董
米佛

播ナ
○播磨路

精良の徑へぬける伊勢路ぞ　桐雨
すり海路の沖は漸てる笠ぞ　花縣
播ナ路や松にてゝまく蒸さかな　葵亭
さまま路や海出る新橋の青笋　一肖
はりナ路や陸ならぬて三日の月　鶏周

○東海道

千稲や東海道も髪のめ　完来
馬糞のくる為に霞まる東海道　杉長

河内
○河内路

河内路や東風吹送る巫女の袖　蓋村
河内路や晴ちらつく衣うつ　秀彦

駿河
葛細道

花稀屋の葛の細屋の裏　完来

波斗知都
奈久也古

下総
○成田道

羽子法ゝや葛の細屋も老らぬ貞　こさ女
さ法の日や山とも法らぬ菜田屋　秀彦
書ハ父入やこ紙つ東になりたる　一菜

近江
○車道

嘗の法し出て明しや車こち　椿堂
茶家の出立にさまし車こち　禾木

大和
大和路

大和路の二ぬも東屋も乙ゆるぞ　蓋村
大和路社稼とり入くく九月かな　空阿
大和路やいつまの道に神まして　周行
大和路へ東ふゝ伸す九月かな　宇橋

越前
○越路

河久ゝやさや越路の茂　橋　鮭堂

近江路（近江）

松明に雪をふりしき越路の所
雷の雪を越路の冬を玉の角
近江路や柳さしたき山をさ
近江路は一時になる田うちなかな
近江路やとや衛をしきそその売
近江路や時雨まさけし串の鮒
何ふと路や稲の中からいつる月
大矢の精光にくるる木曾路だ
枯らせの時知ろけたる木曾路だ
[illegible]して精にうなさまして木曾路だ

其碇
護物
蓁亭
草夫
曉浦
知牛
繁里
閑翁
莞尓
[illegible]

紀伊ノ路（紀伊）

時雨なからけや木曾路をこのうち笠
紀の路にも下さは東を行居一ツ
鯛法にもちろや紀の路の月も東
[illegible]や水戸街道のこぬか雨
[illegible]葉流きに水戸街道の小寺哉
[illegible]流路から横にもなるは夕時雨
[illegible]の雲にのまれ[illegible]この路だ
山[illegible]の雲にのまれ[illegible]この路だ
夜[illegible]さの[illegible]板もとき[illegible]この路だ
虫[illegible]や[illegible]る美濃路を翌の[illegible]

箕山
苺村
護物
[illegible]
政二
吉丁
一樓
亀貞
雀觜
政久守

○信濃路（信濃）

信濃路やまつの緑の多の春　南窓
志なの路や人迷ふ事の後　三巴

○鈴鹿路（伊勢）

鈴鹿路やまつ[illegible]笠の上　専丸
すゝの路にはふゝゆるや松奥賣　一樓
鈴鹿路や厂のかをとかくは面　雀觜
鈴鹿路にかゝ[illegible]し軒日和　箕山

○駿河路（駿河）

駿河路やちよ[illegible]村の数　斗蓮
すゝの路やまつのりしく軒のけ　清風

之寸
伊波乎加

○森之部　并林

生田森（摂津）

掛かまもそふやせ田の森の面　春輝
浮くる月やいくつ[illegible]　禹左

振ノ森（山城）

鳩なくやそこの森の五月雨　春路
ふる川まで鳩やはこその罘古る　双揚

老曽杜（近江）

こゝ[illegible]も元老曽の杜のこゝ初る　一肖
さめしこゝ老曽の森や杜のこゝ　禾葉
[illegible]森や月も老曽は左明て　護物

○笠森（上総）

かさ森や霞くり出る足の下　逸山

笠ヲ書ハ小花のうへ社波の音　亀貞
うさ葉や鶴ニ落ケリ冬の月　箕山
ほとゝきは紀の書ハ水の上　喜旋
月消る紀ハ比くし書　巖
浮田森　雨きしくさ田の鹹ふくむ　与渊
西日さす森やうす田の下ハ葉　秋朝
武蔵
○嬉廻森　阿那嬉しの書ハ猫の明ゆし　[illegible]
春風や嬉しの書を吹起る　宇橋
杜鵑うましの書社月をやし　秋朝
下総
○八幡不知　日くらしや八幡書ハ家つゝき　桃林

多宇也
不古阿

蕉の書ハ八幡書ハ小くらさ　蕉雨
鳴絵子の鉢も八ま書ハ夜　春路
下手葉をてるも桃ふや蕉の書　太祇
きし鳴やまゝ日ハくるさ蕉の杜　一樓
駿河
木枯杜　まゝしき書のまゝや鴨の書　亀白
雨ハ水やまゝしの杜の新けて　榮李
まゝしき天のさくり葉の雪　双揚
尾張
阿波手杜　陸くらは月や阿波手の杜の新　士朗
葉の日そうて通る阿波手ハ　迦孫
学るのまゝや阿波手の葉　新美　露谷

武蔵
○吾妻杜

稲ゆくの霞の何つまの春の新
梅のまゝや吾妻の杜の春の月
逸山

山城
○祇園林

花のさく祇園林も山後の春
除夜の灯のかけまる祇園林也
玄後美

和泉
信太森

屋ゆくしてもや信太の冬の月
傀儡師信太の春に入にけるゝ
一樓

不知作
素芯

阿喜之
伊波

○野之部 并原牧

石原

石原やくゆるまゝ花何さく
石原や篠の雪汁下くし春
白雄

石原や篠の雪汁下くし春
保吉

石原に月の夜くし春九月の菊
寄渕

○春ノ野

たるまゝや雪の春の春の花
大梅

○原屋浦

まるる戸ハ覚悟の外よ春の世逸
春彦

たるのりや刀ゆつりる原毋しこ
年風

初午や通りぬけする原屋敷
白雄

箕山

括野　晴しく寸むや括ゆの[illegible]　士朗
[illegible]　葵亭
[illegible]　翁蓑

○竹原　家[illegible]大井原や[illegible]雪　大祇
白樫や箐井原ハ[illegible]　白雄
[illegible]　士朗
奥深き大竹原や[illegible]月　叢
井[illegible]　武蔵　楽水

夏野　牛[illegible]一[illegible]　士朗
[illegible]　[illegible]

加多奈迺

野邊　奥提[illegible]　有臺
[illegible]　可[illegible]里
[illegible]　樗良
出[illegible]　白雄

野路　[illegible]　蕪村
五月[illegible]　月居
[illegible]　乙二
年[illegible]　子東

野渡　[illegible]　騏道
野[illegible]　[illegible]谷

野風

雲に火入の煙おしかくす野かせかな　几董

出る月の暁ちかさ野かせかな　西月

町並や野かせ吹こむ葉比　盧汀

鶯の来そめてとまる野風哉　羅舎

山蜂のさまよひ出しる野かせ哉　禾木

野中

二ね来て憐く手なる野中かれ　白雄

白うめや大寺さかる野中哉　士朗

○野口

鶯よ野口の酒屋売りかし　保吉

うつの浅き野くちよつくし彼岸哉　葛三

松原

松原や影おとろく夜の月　星谷

冬野

影凄や松にのある小室苔　舟静

松原の霰ふきまはる野の径　箕青

拝鼻の耳語々まる冬野かな　鶏周

鳥の飛去のくもきし冬野原　翁蓁

仇し野

一むらの尾花に乏し仇し野の昔を憶え　白雄

行くもの又まみるかし流れしか　白堂

○廣野

鶯の声をまてる廣野かな　季珉

立鴻やそ行く編み得つくし　梅嶋

檜原

夕けや檜原の中のうちに木　一具

桂樗いろは分くれ東の月　黙巣

眠るかとこと鐸や桜原の村の司　星谷
志ら小ほとゝ雨のふるゝ桜原　菓静
枯はまさへちらぬ桜原や主の司　護物

摂津
伊那野
鳴きて雇いなの浅原　命もなし　太郎彦
人にえぬいなぬ主を帰るア　恵分

武蔵
○入間野
なてしこや入らぬも夜は寒き　西彦
すゝ芝や春一すちの入るさち　碓嶺

上野
○伊香保野
伊香保ぬや百合の中に温泉の烟　玉芙
いろほぬや山の恵方もとふ山雪　由之

伊保登

丹波
生野
とはもしまぬ生のさしとなし性　友國
雛立ていくぬの尾とよみたり　田都喜

播ナ
印南野
印南ぬの水も春とは蜀　魂　碓嶺
印南ぬやかもしまぬの二日の雨　雉扇

信濃
穂家野
ひとる浦し稲家ぬは月の浅ゐしき　可厚
稲家着の新しはすて菜くし　芳汀
おやの月きのふの月をつし蛍　曽人
桜折く男の出たる稲家の紅　箕山
後ち刀に雪のおし稲家の手を　禾木
牛うしのよろる雪ねぬの蛍の有　淋山

山城
○鳥羽野

[illegible]

仝 鳥部野

[illegible]

大和 飛火野

[illegible]

摂津 遠里小野

[illegible]

伊勢 豊久野

[illegible]

恵兮 耳行 泝流 恭里 来汐 名波 梅佛 [illegible]女 [illegible]辰 斗月

[illegible]

下総 千葉野

[illegible]

山城 小原

[illegible]

仝 小野

[illegible]

上総 湖友 政二 成美 南涯 至幸 伯先 云々 士朗 樗堂 蒼乱

俳かへま梅にふかの雨の日に　泥中
鯱にも春をとるる小雨のさしたるき　ちき女

仝
○小栗栖野
小栗栖やまし[illegible]に鳴水鶏　藷村
いな妻のちよ[illegible]ぬや小栗栖ぬ　壺羊
みの[illegible]ぬ[illegible]やをくるすぬ　箕山

河内
交野
[illegible]やをもとる猫の妻　夜鹿
雁る[illegible]や交ぬに[illegible]る三日の月　美松
[illegible]　希拙

下野
○笠掛野
雪にてへし年も[illegible]笠かけぬ　茅丸
[illegible]の[illegible]雀の笠かけぬ　一肖

平加寺
多連

山城
淀野
秋の夜や淀ぬの雨に人[illegible]ふ　暁臺
[illegible]ふ淀ぬの[illegible]や枯[illegible]　几董
菓の[illegible]も[illegible]切の[illegible]ぬ淀ぬ[illegible]　田[illegible]喜
[illegible]ぬ月や淀ぬの一[illegible]垣　春雨
[illegible]の[illegible]よ[illegible]ぬの[illegible]木梅雨枯す　宇橋

陸奥
玉田横野
[illegible]ぬや玉田横ぬ[illegible]　蕉雨
[illegible]ぬや玉田横ぬ[illegible]　杉枝
[illegible]さよ月の玉田[illegible]横ぬ[illegible]　樗山

山城
○蓮臺野
[illegible]枯の[illegible]や蓮臺ぬ　巣兆
[illegible]ぬや蓮臺ぬ　素龍

信濃 薗原

そのゝ原やみてとハえんて苔の花　士朗
菫さゝ原ハ米とゝまの花の白ひさ　伯先
そのゝ原やとちかゝしも秋の雲　方明
おとゝしやゝやまの中にもとゝ姑　陽奥
菫さゝ原やゝ花ゝ東なさのさいさゝ波　舊古

近江 竹塊摩野

はくまゝや二ツ竈のかけそつ　大江丸
瀧戸ゝやよそのはるに月落き　里博安

下野 那須野

目ゝしき那須の荒ゝも秋の句　斗入
旅宮那須ゝの いちて見しけり　乙二
初ゝや那須ゝの雲の海ゝ　東岡

曾都奈岳

みしかゝ原の明て那須ゝの米とへ雲　田都善
石の草もはかりに雲に那須の秋　杜英
常のまし明ゝやむしさきゝ　蘭更
かけなのやちゝ野の紫ゝ　士朗

武蔵 武蔵野

まの原の明てのたく紫ゝ　奥眼
むさしゝや草七尺に秋のこゝ　白雄
武蔵ゝに杜とゝきけり秋のあ　宗讃
むさしゝハ深世の物ぬ秋の雲　曰人
人家ゝ家武蔵ゝの烟来ゝし　一肖
武蔵ゝの原をとゝまれ日ろかれ　慶秋

伊勢
嬉し野

嬉しゆゑ枯るゝ枯るゝ草の茅ゆゑ
くまくしゆゑや枝はたゝる薄ふき雁
嬉しゆゑの東路はそやき鶉ゝ形
武蔵
野火留

ゆゑとめや霄暁のゝぬゝ汁
ゆゑ火留やゑゝのゆゑとを梅の咲
野火留の古屋やのん麦蒔る
山城
大原

大原やいつゝまくぬ月と家
大はゝや鳴る川沿のおそろ月
大原や月もぬゝきしけ時旬
大原やきゝ屋にき月の氣

咸美
真貫
赤女
巣兆
亦丟
馬梁
みち彦
素芯
田郡喜
雌堂

宇迺於久也末不

陸奥
○葛松原

葛の松原陳しふの雨
いふ霧や葛の松原こえなから
武蔵
○柳原

なく餘の庄耳法ふき柳原
時多鶴まとけや柳ゝ
鶴の小口こきり柳原
山城
真葛原

さの葛原東行人のゝしゝ
人さはくさの葛ゝ原や十東企
志くはゝや さの葛ゝ原を雨合羽
駿河
不二裾野

雪ゝへゝとゝ裾野の多ゝ来て

梅壽
午心
越児
美知彦
季道
ちゝ女
樗堂
完来
山幸
蒼乱

麦杖や不二の裾まくらく箒　木雄
裾まで踏らるる暑かな　奎議
刈萱に昆陽の積のゆきなかな　耆丁
松虫や昆陽の浦のをとり面　玉光
植る田に濡れしるゝ何けなかな　美欲彦

摂津
昆陽野

伊勢
○曙野

武蔵
浅茅原

かなしきる曙の菓屋の小庭が　護物
切れゆや浅茅の原の草の露　完来
ゆきに入や浅茅の落くもと　菓溪
ぬきて行浅茅の原も菓のむ　奥連
に鳴雲や浅茅の清芳　梅壽

○近江野

近江
近江野

をしれやを鶏の房も持ちてる　爐扇
をしれやゆくしの春のみ　菓静
何ふるやや露にぬきて鶏かへ浅　まし女
菓のむのまくれきれの栗浅かな　雪堂
みち枯や栗浅かなの浅何かと　素鶴
栗浅の月のきさよ田うたくと　松語

仝
栗津原
、野

信濃
浅葉野

浅葉は柳の多しなく蛙　雪鶯
雪きしに何を浅葉の草の宿　素檗

陸奥
安達原

のきに菓や安達の原の春の月　紫明
故里つるしきてハあ達の原の家　蕉雨

山城 嵯峨野

[illegible]の葉ハ[illegible]の比雪霜
[illegible]
[illegible]

白絲女
里場女
巣二

仝 北野

[illegible]
[illegible]

方明
五長
士朗
路久

信濃 ○桔梗原

葉に出る桔梗ハ[illegible]
桔[illegible]桔梗ハ[illegible]

仝 桐原牧

[illegible]
桐[illegible]

素檗
可厚
玉光

山城 美豆野

[illegible]

左喜美

遠江 ○味方ヶ原

[illegible]
秋[illegible]味方ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

護物
槙立
弄化
恵兮

駿河 三保松原

[illegible]
[illegible]

一楽
谷雄

陸奥 宮城野

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

菩村
白雄
三千貴
竹馬

伊与

山城 朱雀野

朱雀ハ門の業稱ゆり傘の下　葵亭
朱雀ハ也ゆ名にいてさし人はかり　布雪
耳痒ゝ思ふ朱雀の柳ゆ　風芝
新鳥や朱雀の雉の聲ゆ　食彦
朱雀まで跡てゝ世ゆの音　宇橋

仝 標野

明星や標ハの雲雀巣にて鳴　白雄
志めしハや小松ハ雉の唇　姜簇
おまて鳴雉ハ標ハの夕かれ　崔子
さし鳴や志めハの雲をこゝにかゝ　亀史

相模 諸越原

もろ志しか原ゆ鶴の月東かれ　菖之

之毛寸

信濃 菅荒野

松風や諸越ゆ原も波の秋　箕山
君か代やも諸志しか原も月こよひ　謹物
何ゝ水也あらき荒ハも雪にして　素檗
松明ふるハ菅の荒ハ雉男夜　菖古
霞松の菅の荒ハ雉男寺ゆ　玉光

壱号